

## ▶株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 毎年5月  
基準日 定時株主総会 毎年2月末日  
期末配当金 毎年2月末日  
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）  
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）  
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所市場 東京証券取引所 市場第二部

（ご注意）

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## 環境方針

- ① 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
- ② 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- ③ 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
- ④ この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
- ⑤ この方針は、社内外全般に公表します。



マルヨシセンターに関する情報は、  
ホームページでご覧いただけます。

<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>



株式会社 **マルヨシセンター**

# MARUYOSHI SUPER REPORT

## 第59期 報告書

2018年3月1日 ▶ 2019年2月28日

MARUYOSHI CENTER

Top Message

# 地域の皆さまの食生活を より豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型 スーパーマーケットを目指します。



代表取締役社長 佐竹 克彦

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第59期連結会計年度（2018年3月1日から2019年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度（2018年3月1日～2019年2月28日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境及び企業収益の改善が続く一方、米国の通商政策による貿易摩擦の長期化などにより、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

小売業界におきましては、競合他社の出店や価格競争が一層激化しているとともに、労働需給の逼迫に加え人件費関連コストの増加、さらに、日々の買物での生活防衛意識の高まりにより低価格志向が継続しており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は、経営理念である「健康とおいしさ」のキーワードに「美容」を加え、食と美

をテーマとした当社独自の商品（お弁当・惣菜類等）を開発するとともに、食の簡便化、即食ニーズの高まりによる中食市場の取り込みに取り組んでおります。一方で、節約志向に対し戦略的な営業施策として「家計応援」企画（エブリデーロープライス）を継続するとともに、商圏内のシェア拡大を図っております。また、当社商圏内への競合店出店が相次ぎ、業績への影響が拡大していることから、効率化を目的とした企業体質の改善に着手いたしております。

縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めており、新しいモデル店舗（グランデリーズ）を確立すべく、2号店となるグランデリーズ飯山店（香川県丸亀市）を2018年4月に開店いたしました。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は、387億95百万円（前期比1.2%減）、営業利益は2億24百万円（前期比41.8%減）、経常利益は1億68百万円（前期比44.5%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は5億25百万

円（前期は1億39百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く外部環境はなお厳しく、人口減少や可処分所得の縮小、また、節約志向などによる個人消費の伸び悩み、さらに、2019年10月には消費税率の引き上げが予定されるなど、引き続き予断を許さない状況であります。

当社は「健康とおいしさ」の経営理念に基づき、顧客にライフスタイル提案のできる店舗を構築するとともに、グランデリーズモデルの中小型店の開発を進めてまいります。

また、より迅速で確実な政策実現を目的に、経営と店舗と

が情報交換や意思の伝達をよりスムーズに行えるよう、組織のフラット化を行ってまいります。

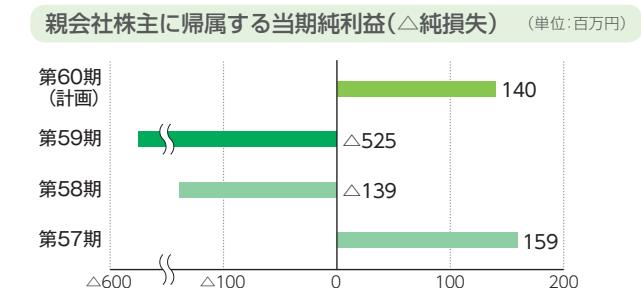
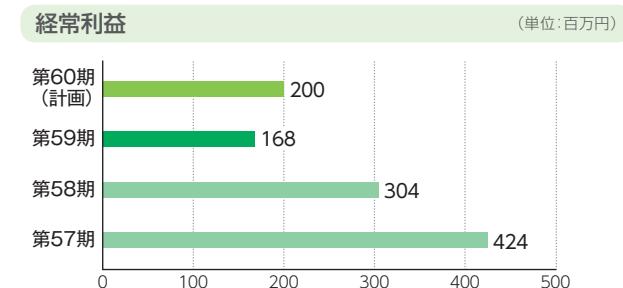
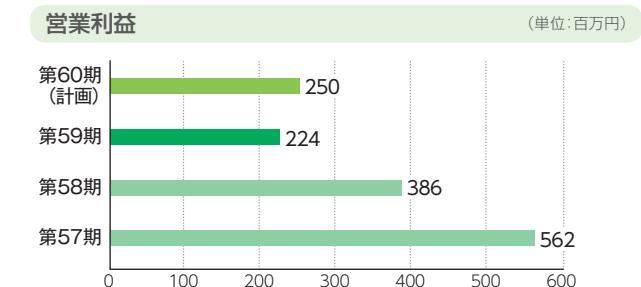
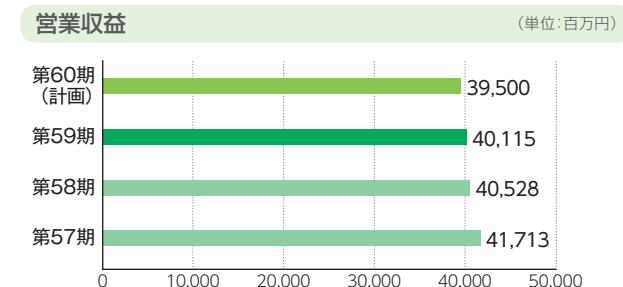
さらに、今後は、当社のコンセプトである「健康とおいしさ」に「美容」を加え、食と美の切り口から消費者のニーズに応えることで、将来に向けて新たな市場の開拓を図ってまいります。

その他、消費者の食の安全や健康に対する関心に対応するため、自社製造商品の開発強化や品質にこだわった商品仕入等、価値ある商品の開発と提供も引き続き行ってまいります。

なお、セミセルフレジを導入することで、省力化にも取り組んでまいります。

2019年5月

## 財務ハイライト(連結)





### 3月1日、お客様の「早い・便利」に応えるため 即食・簡便に特化したグランデリーズが誕生しました。

お仕事帰りのクイックショッピングや簡単クッキング商材・盛り付けだけの惣菜など、普段忙しいお客様の時短ニーズに応える小型店を目指します。



1番目の  
お客様と記念の  
テープカット

ゆったりと  
スペースを取った  
人気のイートイン  
コーナー

全台セミセルフ  
レジを採用し、  
レジでの待ち時間を  
短縮



#### グランデリーズ昭和町店のこだわり

お客様の時短ニーズに応えた簡便商材を豊富に品揃え。  
さらに工場生産ラインをフル活用したサービス重視の運営を実現。

#### 簡便商材

お客様の「便利！」に応えた豊富な簡便商材・こだわり惣菜。

簡便商材



簡単調味付けお肉



簡単調味付けお魚



惣菜クイックディッシュ

こだわりの  
惣菜



こだわりの玉子焼き



品揃え豊富な焼き魚



健康志向お弁当

#### センター加工商品

センター加工商品を活用し、バックルームでの作業を軽減することでより良い接客サービスを目指します。



センター加工お野菜



センター加工お刺身



センター加工お肉



センター加工お寿司



# 「健康とおいしさ」そして「美容」をテーマに、地域のお客様をお招きしたクッキングスクールを開催しています。

## 野菜ソムリエプロ・川村章子先生による料理教室 トマト缶の美味しいレシピ



野菜ソムリエプロの川村先生によるトマト缶を使ったお料理教室を開催し、美味しそうな「トマトのスパイスチキンカレー」と「自家製トマトケチャップ」が完成。当社パイヤーも、マルヨシセンター直輸入のトマト缶「ラ・チョチャレラ」の熱い思いを語りました。

## 料理研究家・山中美妃子先生による料理教室 ひけた鰯のアイデアレシピ



料理研究家の山中先生による「ひけた鰯」を使ったアイデア料理教室を開催。「鰯のキウイソースサラダ」「炙り鰯のおろしポン酢」「鰯のあら汁」を作りました。皆さん下処理の仕方に感心しきり、熱心にメモを取られていました。

## 子供が作る弁当の日提唱者 竹下和男先生講演会



第1部は「弁当の日」を考案された竹下和男先生による講演会。お話に感動して目頭を押さえる方もいらっしゃいました。第2部は調理実習で、小学校低学年から高学年まで一致協力し、大人顔負けの美味しそうなお弁当を作りました。

## 香川県栄養士会・東章代先生プレゼンツ 低体温を考えよう



管理栄養士の東先生より、身体を温める食材や調理法などを伝授いただき、「鶏肉のホイル焼き（キムチソース）」と「根菜のリンゴすりおろし煮」が完成。参加者の皆さんも低体温について考えるきっかけになったようです。

## 料理研究家・山中美妃子先生による料理教室 生姜焼き vs トンテキ



料理研究家の山中先生よりグランデリーズ飯山店イチ押しの商品「伊予の元気豚」を使った豚肉の定番料理を教えてくださいました。参加された方は「豚の生姜焼き」と「トンテキ」の作り方やコツを熱心に学ばれていました。

## 野菜ソムリエプロ・川村章子先生による料理教室 マイスターピッセン&サラダチキン



野菜ソムリエプロの川村先生よりお薦め商品「マイスターピッセン」と「サラダチキン」を使ったレシピを教えてくださいました。「ポトフ」と「ナゲット」「棒棒鶏（バンバンジー）」をクッキング。商品そのものの良さを活かしたレシピは、簡単で美味しいと好評でした。

## 香川県栄養士会・東章代先生プレゼンツ タンパク質とカルシウム



管理栄養士の東先生をお招きし、ロコモ対策とタンパク質・カルシウムの関係について教えてくださいました。近頃よく耳にするロコモに皆さん興味津々。「油揚げのひき肉巻き」と「豆腐と卵のスープ」が完成しました。

## Spice College クッキングセミナー



初めにスパイスマイスターの古川先生からスパイスについて学び、野菜ソムリエプロ・香川県農アドバイザーの池田先生による料理教室がスタート。「地鶏の五香粉揚げネギソース」や「地産サラダ」などを作りました。



# 連結財務諸表（要約）

## ▶ 連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期末 (2019年2月28日現在)	前期末 (2018年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,976,204	2,922,417
固定資産	14,100,408	14,298,776
有形固定資産	11,854,344	12,000,312
無形固定資産	512,004	471,998
投資その他の資産	1,734,060	1,826,466
繰延資産	6,015	1,732
<b>資産合計</b>	<b>17,082,628</b>	<b>17,222,925</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,325,303	7,509,896
固定負債	8,288,560	7,712,329
<b>負債合計</b>	<b>15,613,864</b>	<b>15,222,225</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,342,279	1,890,440
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	△ 34,734	513,396
自己株式	△ 514,512	△ 514,482
その他の包括利益累計額	△ 11,685	△ 11,352
その他有価証券評価差額金	15,357	△ 4,057
退職給付に係る調整累計額	△ 27,042	△ 7,294
非支配株主持分	138,169	121,611
<b>純資産合計</b>	<b>1,468,764</b>	<b>2,000,700</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>17,082,628</b>	<b>17,222,925</b>

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当期 (2018年3月1日から 2019年2月28日まで)	前期 (2017年3月1日から 2018年2月28日まで)
売上高	38,795,316	39,265,288
売上原価	29,327,359	29,757,324
売上総利益	9,467,957	9,507,963
その他営業収入	1,319,878	1,263,607
営業総利益	10,787,835	10,771,570
販売費及び一般管理費	10,562,931	10,384,867
営業利益	224,904	386,703
営業外収益	44,805	40,253
営業外費用	100,890	122,686
経常利益	168,819	304,270
特別利益	—	3,760
特別損失	602,130	332,244
税金等調整前当期純損失	433,311	24,213
法人税、住民税及び事業税	57,426	76,571
法人税等調整額	17,951	21,445
法人税等合計	75,378	98,017
当期純損失	508,689	122,230
非支配株主に帰属する 当期純利益	16,673	17,292
親会社株主に帰属する 当期純損失	525,363	139,523

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期 (2018年3月1日から 2019年2月28日まで)	前期 (2017年3月1日から 2018年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	707,409	993,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 983,640	△ 484,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	238,662	△ 554,444
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 37,568	△ 44,671
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,681	1,049,352
現金及び現金同等物の期末残高	967,113	1,004,681

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 連結株主資本等変動計算書（2018年3月1日から2019年2月28日まで）

（単位：千円）

科目	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	813,528	513,396	△ 514,482	1,890,440	△ 4,057	△ 7,294	△ 11,352	121,611	2,000,700
当期変動額										
剰余金の配当			△ 22,768		△ 22,768					△ 22,768
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△ 525,363		△ 525,363					△ 525,363
自己株式の取得				△ 29	△ 29					△ 29
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						19,414	△ 19,747	△ 333	16,558	16,225
当期変動額合計	—	—	△ 548,131	△ 29	△ 548,161	19,414	△ 19,747	△ 333	16,558	△ 531,936
当期末残高	1,077,998	813,528	△ 34,734	△ 514,512	1,342,279	15,357	△ 27,042	△ 11,685	138,169	1,468,764

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(2019年2月28日現在)

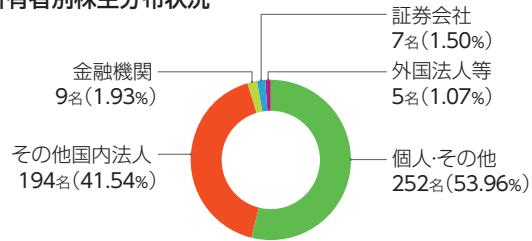
1) 発行可能株式総数	2,175,000株
2) 発行済株式の総数	874,999株
3) 株主数	467名

大株主(上位10名)

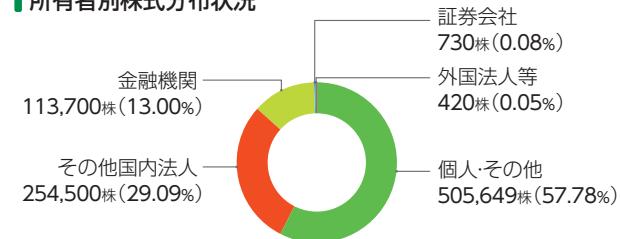
株主名	株式数(株)	出資比率(%)
佐竹 睦子	92,500	10.57
マルヨシセンター取引先持株会	77,900	8.90
有限会社 佐竹興産	49,900	5.70
株式会社 百十四銀行	37,900	4.33
株式会社 阿波銀行	37,900	4.33
マルヨシセンター従業員持株会	27,539	3.14
佐竹 克彦	25,900	2.96
黒田 泰弘	24,400	2.78
ロージー 美佳	17,000	1.94
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	15,000	1.71

(注)当社は自己株式116,063株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概要

(2019年2月28日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	1961年3月
本店の所在地	香川県高松市南新町4番地の6
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット37店舗 レストラン1店舗
従業員数	449名 (ほか、パートタイマー1,245名 [8時間換算])

取締役・監査役

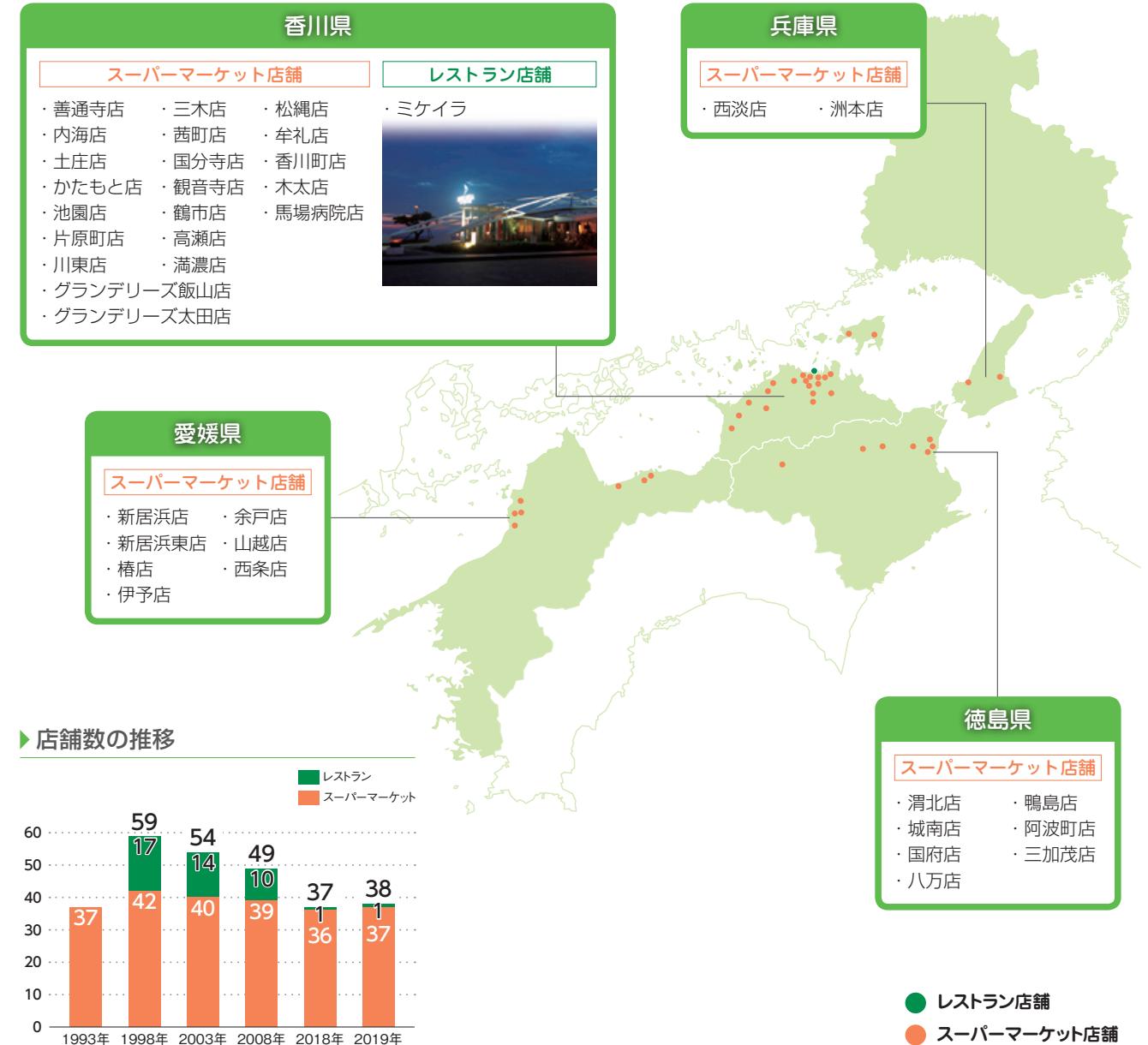
(2019年5月29日現在)

代表取締役社長	佐竹 克彦
取締役副社長	伊東 栄治
取締役副社長	加藤 宏道
取締役	小笠原 将仁
取締役	大下 秀樹
常任監査役	多田 好克
監査役	五十嵐 正昭
監査役	川東 祥次

(注)大下秀樹は社外取締役、五十嵐正昭および川東祥次は社外監査役であります。

会計監査人

太陽有限責任監査法人



店舗数の推移

